



平成29年度 坂小学校区 第1回地域コミュニティ連絡会のまとめ



作成：三島市役所 地域協働・安全課 きずなづくり推進室（TEL：055-983-2708）

6月30日（金）に開催された「平成29年度坂小学校区第1回地域コミュニティ連絡会」にご出席いただきまして、誠にありがとうございました。当日の発言や意見をまとめた資料ができましたので、送付いたします。（三島市のホームページにも掲載しています）

■開催概要■

日時	平成29年6月30日（金）19:00～20:45		
会場	坂公民館		
参加団体 (25名)	台崎町内会 市山新田自治会 三ツ谷自治会 笹原自治会 山中自治会 坂幼稚園	坂幼稚園PTA 坂小学校 錦田中学校 坂小学校支援地域本部 スポーツ推進員 体育振興会	消防団第13分団 保健委員会 民生委員・児童委員 錦田地区地域包括支援センター 三島市社会福祉協議会

■次第■

開会・市長あいさつ

- 1 「地域コミュニティ連絡会について」
- 2 「地域の情報を共有しよう」
- 3 「計画案で実践できることを考えよう！」
- 4 「アンケート記入」



「地域の情報を共有しよう」のまとめ

今回の「地域の情報共有」では、小学校区の年間スケジュール表や各団体から出された情報を参考にしながら、各団体間の情報を共有しました。

○「小学校区の年間スケジュール表」について

小学校区内で活動する団体の行事や活動等を各団体と共有し、日程調整等のために活用していただくことを目的に、本年度から小学校区内の団体等の予定を合わせた年間スケジュール表を作成しています。

■主な情報交換の内容

団体	情報の概要
坂地区活性化協議会	<ul style="list-style-type: none"> 山田川沿いに「三ツ谷夢小路（ゆめこみち）」という遊歩道を作りました。奇数月に遊歩道の草刈りをしています。
坂幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> 今年創立 50 周年を迎えます。幼稚園フェアの時に記念式典を開催します。 卒園生や OG の先生にご協力頂いて創立 50 周年の記念誌を作成したいと考えています。子どもの人数が少ないので、地域の皆様の協力をお願いします。
坂幼稚園 PTA	<ul style="list-style-type: none"> ペットボトルのふたやインクカートリッジ等を回収しています。ぜひ、ご協力ください。
坂小学校	<ul style="list-style-type: none"> 地域の皆さんの協力に感謝しています。とても素晴らしい地域だと思います。
坂小学校支援地域本部	<ul style="list-style-type: none"> 坂小学校の野菜づくり（じゃがいも、スイカ、とうもろこし、ブロッコリー、大根など）を支援しています。 今年は質・量ともに良いじゃがいもが収穫できました。
錦田中学校	<ul style="list-style-type: none"> 日頃の地域の方の支援に感謝しています。 子ども達同士のコミュニケーションが難しい生徒がいます。大人との関わりが大切だと思うので、防災などで中学生の活躍の場を与えてください。 11 月の職場体験や 2 月の職場講話にご協力ください。
消防団第 13 分団	<ul style="list-style-type: none"> 団員の確保に協力をお願いします。 管轄範囲が広すぎるので、市の配慮をお願いします。
保健委員会	<ul style="list-style-type: none"> 10 月にノルディックウォーキングの大会を行います。
錦田地区地域包括支援センター	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者の総合窓口です。何かあればご相談ください。 7/14（金）に錦田公民館で認知機能検査（ファイブ・コグ）ができます。興味がある方はお申し込みください。 錦田地区で認知症の家族会を立ち上げます。第 1 回目の集まりを 9/12（火）10:00～11:30 に錦田公民館で行いますので、家族の認知症にお悩みの方などにご紹介いただくと幸いです。
三島市社会福祉協議会	<ul style="list-style-type: none"> 三島市から受託し、「生活支援コーディネーター」の役割を担っています。 高齢者のサロン等の“居場所”づくりに力を入れています。 地域の困りごとの相談も受け付けますので、お気軽にご相談ください。

「計画案で実践できることを考えよう！」のまとめ

■旗揚げアンケートの結果

きずながつくる協働の取組み計画案に掲載されている取組みのうち、昨年度第2回連絡会で投票数の多かった取組みに絞り、話し合いたいテーマとしてふさわしいものを旗揚げアンケート方式で把握しました。

	幼小の連携、少人数教育、不登校がないなど、坂幼稚園や坂小学校の良さを積極的にPRする。	7
	地域の特性を踏まえた「自分の身は自分で守る」ための行動チェックシートを自治会ごと作成し、住民に周知する。	7
	高齢者の避難方法や避難所での対応を検討しておく。	11

その後、選択したテーマごとにグループを作り、グループ別に意見交換を行いました。

■グループ別意見交換のまとめ

グループA	幼小の連携、少人数教育、不登校がないなど、坂幼稚園や坂小学校の良さを積極的にPRする。
-------	---

●目的（何のため？）

＜人数が少ないのも長所＞

- ・人口が増えても良さが無くなる
- ・一人一人に目が配れる

●これまでのPR方法

＜ブログで発信＞

- ・ブログを出している

●成果

- ・ブログを見て入園を決めてくれた
- ・幼稚園への入園の問合せが多い
- ・先日、坂幼稚園について話す機会があった
- ・年齢の差は大切にしたい
- ・坂幼稚園の複数学年を統合する話がある

●PRの課題

＜働く場を確保＞

- ・起業する人を募集する
- ・起業したいという人もいる
- ・地域の雇用は大切な要素

●PRの方法のアイデア

＜農の魅力のPR＞

- ・大人と一緒に農作業大切
- ・農のある地域の良さをPR
- ・一人二人移住すると思う。

＜口コミが大切＞

- ・お母さんの集まりで口コミ
- ・同じ職場口コミで

＜プロモーションビデオ＞

- ・富士山バックにユーチューブ

＜坂地区でB級グルメ＞

- ・坂地区ブランドポテトチップス
- ・坂地区ロゴ

＜住みやすさをPR＞

- ・この地域にまず来て欲しい
- ・首都圏でPRできないか
- ・コンビニが欲しい

＜チラシでPR＞

- ・産婦人科・スーパーにチラシを貼る
- ・公民館に貼ってもらう
- ・ママ友への地道な活動

地域の特性を踏まえた「自分の身は自分で守る」ための行動チェックシートを自治会ごと作成し、住民に周知する。

●目的（何のため？）

<いざという時のために>

- ・災害が起こった際に何をしたら良いか、誰もがわかるようにするため
- ・災害時の為の必要性

<自分がすべきことの確認>

- ・地区によって事情が違うので地震の場合をよく確認しておく

●どんな単位で作るか？

<自治会ごと>

- ・最終的に集まる場所を決める

<校区全体>

- ・周辺自治会との連携

●どんな災害を想定したチェックシートか？

<災害の種類>

- ・様々なシチュエーションの想定
- ・山崩、土砂災害、道路寸断

<時間帯>

【昼】

- ・皆がバラバラ
- ・学校へ引き取りに行くべきか否か

【朝・夜】

- ・みんなが揃っている

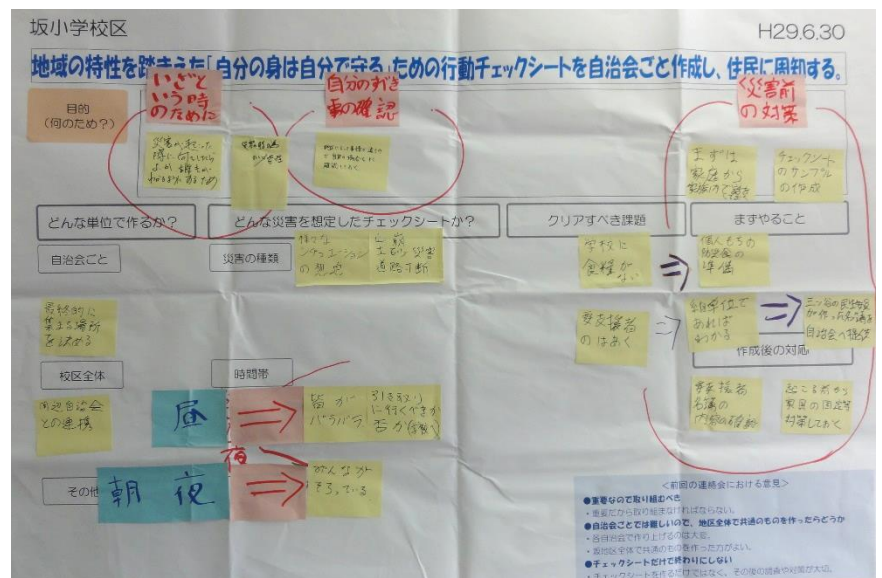
●クリアすべき課題・対応

<災害前の対策>

- ・まずは家庭から。家族内で話をしておく
- ・チェックシートのサンプルの作成
- ・学校に食糧がない
→個人持ちの防災食の準備
- ・要支援者の把握
→組単位であればわかる
→三ツ谷の民生委員が作った名簿を自治会へ提供

●作成後の対応

- ・要支援者の名簿の内容の確認
- ・災害が起こる前から家具の固定等、対策しておく



●前提条件の確認

- ・避難所＝坂小

●目的（何のため？）

<命を守る>

<防災を学ぶ>

- ・災害時の安否の確認

<高齢者を把握する>

<近所の絆づくり>

高年齢者の避難所での対応

●現状で決まっていることは？

- ・体育館の中で地区ごとに使用できる場所が決まっている
- ・各地区に一時避難所がある

●修正すべき点・課題は？

- ・ケガの処置、トイレの確保が課題
- ・各地区の公民館は耐震性が怪しい…

●解決策

- ・市の補助金の活用（簡易トイレもOK）
- ・公民館の耐震補強

●まずできること

<各地区で集まる場を決める>

- ・坂小に來れなければ、各地区に集まる場所を決める。
- ・公民館や新しい家など、各地区で集まる場所を決める。

高年齢者の避難方法

●現状で決まっていることは？

- ・決っていない

<消防団はマニュアルに従って行動>

- ・消防団は、震度5強以上だとマニュアルに従って行動する

<どうしたらよいかわからない>

- ・避難方法を市から教えて欲しい
- ・寝たきり、体が不自由な高齢者をどのように避難させるか？

●修正すべき点・課題は？

- ・個人情報の問題
- ・地域特性に合った避難方法を考えたい
- ・人数に限りがある
- ・昼間は高齢者しかいない
- ・坂地区は小さな集落がたくさんあって離れている

●解決策

- ・リヤカーは良いかもしれない（ノーパンクタイヤが良い）
- ・リヤカーは市の補助金がある
- ・（道路が通れれば）軽トラで運ぶ

●まずできること

- ・地域の方を把握しておく
- ・安否確認の方法を確認しておく

